

水害・土砂災害時の避難について青葉区に確認しました。



地震と水害土砂災害では避難所の考え方が異なります

天災は大きく2つに分かれます。地震と水害土砂災害です。地震は予知できず、被害が大規模なものに対して、水害土砂災害は、ある程度、想定もでき、被害も局地的なものが多いです。そこで避難所についても、地震と水害土砂災害で異なっています。

地震の避難所は、地域防災拠点である「美しが丘小学校・美しが丘中学校」を事前指定しています。震度5強の地震が発生した際に、地元の方が開設し、運営委員会で運営していきます。(中部自治会1班~10班は美しが丘小学校・11班~43班は美しが丘中学校)

一方、水害土砂災害の避難所は、事前指定していません。避難行動の呼びかけ⁽¹⁾にあわせて、青葉区から避難先についてあらゆる広報手段(テレビ(Lアラート)、区ホームページ、防災ラジオ、Twitter、青葉区防災アプリ⁽³⁾等)を用いて広報します。

避難先の候補としては山内小学校、山内地区センター、荏田小学校、元石川小学校、あざみ野中学校を計画しています。水害土砂災害の避難所は青葉区で開設します。

(1) 警戒レベル1：災害への心構えを高める

警戒レベル2：避難に備え自らの避難行動を確認

警戒レベル3：避難準備・高齢者避難開始

(避難に時間を要する方々とその支援者は避難開始を)

警戒レベル4：避難勧告、避難指示(緊急)(対象地域の方々は全員避難を)

警戒レベル5：災害が発生(命を守るための最善の行動を)

(警戒レベル1、2は気象庁が発表し、警戒レベル3、4、5は区役所が発令します)


ひとり暮らしなどで避難が困難だと思われる方は「支えあいカード⁽²⁾」を登録されることをお勧めします。自治会館へお問い合わせ下さい。

(2) 支えあいカード：災害発生時に一人では避難が困難な要援護者の情報を登録し、地域がその情報を共有するためのシステムです。

(災害時には自治会・地域防災拠点・民生委員が訪問)

(3)青葉区防災アプリ：ダウンロードは無料

84.1MHz

 **青葉区の災害情報は
FMサルースのアプリから!!**



災害・緊急情報をキャッチし、緊急時は横浜市などから発表された情報が配信されます。情報は端末機が稼働中か否かにかかわらずアラームと文字で自動受信します。

青葉区からの緊急情報 避難情報 地震情報(震度5強以上) 土砂災害情報など

青葉区の気象情報 大雨、洪水、大雪に関する警報など